

コメント

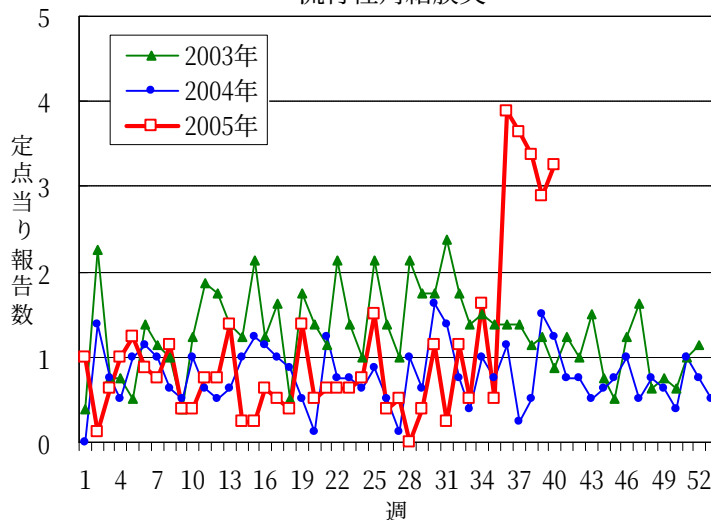
1. 流行性角結膜炎

定点当り3.25人とやや増加しており、第36週から多い状態が続いています。全患者数26人のうち、安佐南区、安佐北区からの報告がともに9人と多くなっています。

2. 流行性耳下腺炎

定点当り1.79人とやや減少しています。安芸区3.5人、中区2.7人となっています。

流行性角結膜炎



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ 注2)	-	-	-		麻疹 注3)	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	5	0.21	0.06		流行性耳下腺炎	43	1.79	0.69	↗
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	20	0.83	0.83		RSウイルス 感染症	3	0.13		
感染性胃腸炎	87	3.63	2.60	↗	急性出血性 結膜炎	-	-	-	
水痘	17	0.71	0.58		流行性角結膜炎	26	3.25	1.23	↗
手足口病	2	0.08	0.39		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	7	0.29	0.15		無菌性髄膜炎	-	-	0.26	
突発性発しん	23	0.96	1.02		マイコプラズマ 肺炎	3	0.43	0.23	
百日咳	1	0.04	0.02		クラミジア肺炎 注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.33						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
注3) 成人麻疹を除く
注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

			インフルエンザ (注1)	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
報告数	広島市	第36週	-	11	15	100	11	10	2	18	1	-	17	-	44	1	1	31	-	2	-	-	
		第37週	-	6	11	85	12	6	1	20	1	-	21	-	47	1	-	29	-	3	-	-	
		第38週	-	5	15	74	12	1	3	16	2	-	15	-	43	-	-	27	-	-	-	-	
		第39週	-	1	19	81	11	3	1	16	3	-	12	-	59	-	-	23	-	4	-	-	
		第40週	-	5	20	87	17	2	7	23	1	-	2	-	43	3	-	26	-	3	-	-	
定点当り	広島市	第36週	-	0.46	0.63	4.17	0.46	0.42	0.08	0.75	0.04	-	0.71	-	1.83	0.04	0.13	3.88	-	0.29	0.29	-	-
		第37週	-	0.25	0.46	3.54	0.50	0.25	0.04	0.83	0.04	-	0.88	-	1.96	0.04	-	3.63	-	0.43	0.43	-	-
		第38週	-	0.21	0.63	3.08	0.50	0.04	0.13	0.67	0.08	-	0.63	-	1.79	-	-	3.38	-	-	-	-	-
		第39週	-	0.04	0.79	3.38	0.46	0.13	0.04	0.67	0.13	-	0.50	-	2.46	-	-	2.88	-	0.14	0.57	-	-
	全国	第40週	-	0.21	0.83	3.63	0.71	0.08	0.29	0.96	0.04	-	0.08	-	1.79	0.13	-	3.25	-	-	0.43	-	-
第38週		0.02	0.24	0.46	2.10	0.45	0.59	0.11	0.68	0.01	-	0.57	-	0.98	-	0.01	1.09	0.01	0.03	0.22	0.01	-	
		第39週	0.02	0.22	0.54	2.51	0.42	0.47	0.13	0.72	0.01	-	0.44	-	1.22	0.02	1.15	0.02	0.04	0.30	-	-	

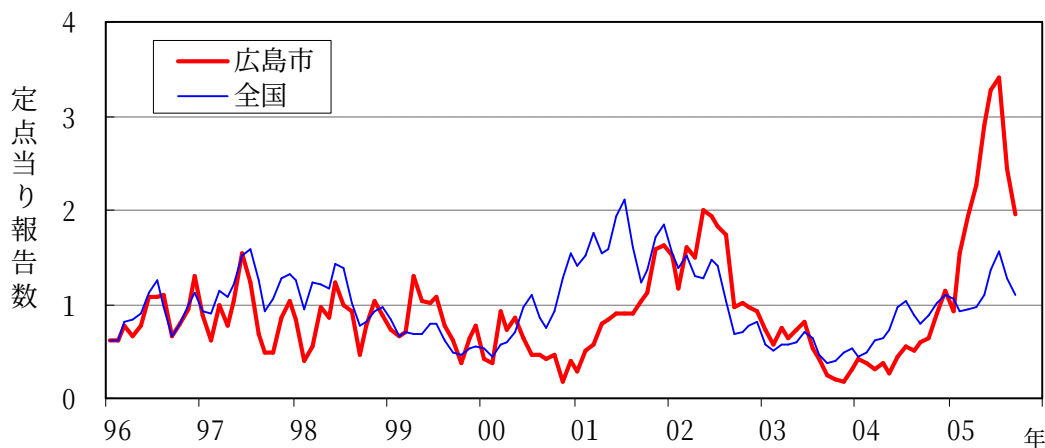
注1) 高病原性鳥インフルエンザを除く 注2) 成人麻しんを除く 注3) オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	5	男	2005/08/16	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
咽頭結膜熱	0	女	2005/08/28	咽頭拭い液	アデノウイルス3型

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の月別定点当り報告数 (1週当り平均)の推移

【1996年1月～2005年9月】



流行性耳下腺炎は、今年になってから増加が続き、7月の定点当り報告数の週平均値は3.41人となりました。

その後、8月、9月と2か月続けて減少しましたが、例年と比べて多い状態が続いています。

2005年

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
定点当り報告数 (人/定点/週)	0.93	1.54	1.92	2.26	2.91	3.28	3.41	2.43	1.96

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第40週 (10月3日～10月9日)